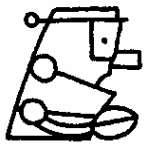


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
植物の体とはたらき / 理解シート

ジャガイモの植えつけて、切り口はどっちに向けるの

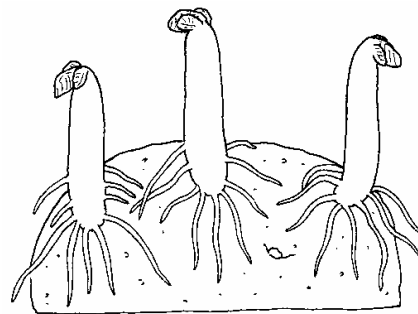


ジャガイモの芽の出る場所は、いもの表面にあり、芽は上にのびるから、切り口は下向きが正しいのだ。

春先に、ジャガイモのいもに、芽や白い根のようなものが、出かかっているのを見たことはありませんか。ジャガイモは、種ではなく、いもを土に植えます。この、種のかわりに植えるいもを、たねいもとよんでいます。

ジャガイモのいものくぼんだ所には、芽のもとがあり、まるごとジャガイモをたねいもにすると、芽がたくさん出すぎて、葉などがよく育ちません。そのため、成長のとちゅうで、多すぎる芽をとってしまおう（芽かき）か、最初から、芽の出る部分が入っているように、たねいもを2～4個に切ってから、植えつけます。

このとき、芽の出るくぼみが上になるよう、つまり、切った切り口が下になるようにして植えつけます。芽は、上に向かってのびていくからです。



↑ 切り口を下にする
< 植えつけ方 >

葉がしげるまで、たねいもの栄養分で育つ

芽が出て葉が広がるまでは、ジャガイモは、たねいもの栄養分で成長します。種から芽を出すインゲンなどが、種の中の栄養分で育つのと同じです。

やがて、葉の中で、日光の助けをかりて、根から吸い上げた水や二酸化炭素を原料にして、デンプンがつくられます。できたデンプンは、植物の体の成長や、新しいいもを作るのに使われます。植えて3か月ほど後にほってみると、たねいもは栄養分をとられてしわくちゃになり、まわりに、新しいもがたくさんできています。